

2021年2月12日

各 位

ENEOSホールディングス株式会社

### 第23回「日経アニュアルリポートアワード」で特別賞を受賞

当社（社長：大田 勝幸）は、2020年10月に発行したENEOS REPORT「統合レポート2020」が、このたび、日本経済新聞社主催の第23回「日経アニュアルリポートアワード」の本賞審査部門において、特別賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

「日経アニュアルリポートアワード」は、日本企業が発行するアニュアルレポートのさらなる充実と普及を目的に、日本経済新聞社が1998年から毎年実施しており、ファンドマネージャーやアナリスト等の審査員からの評価をもとに優れたアニュアルレポートを選定するものです。23回目となる今回は132社が参加し、グランプリ1社、準グランプリ3社、特別賞3社、優秀賞14社が選ばれました。なお、特別賞には優秀賞の中でも特別に秀でている企業が選出されます。

#### 1. 高く評価されたポイント

審査項目のうち、特に以下の項目を高く評価されました。

- ・企業価値向上とサステナビリティ（長期の持続可能性）維持を目指すための重要性（Materiality）の抽出
- ・長期の企業価値向上を支える重要な環境・社会項目の抽出

#### 2. 主な審査コメント

- ・価値創造モデルと長期的な持続可能性のビジョンが大変良い
- ・2040年カーボンニュートラルという高い目標に向けて、経営の強いコミットメントが感じられる内容になっている

当社グループは、再生可能エネルギー事業やCO<sub>2</sub>フリー水素サプライチェーン構築、製造拠点での省エネ推進などによって、2040年のカーボンニュートラル実現を掲げております。低炭素・循環型社会の形成等の社会変革を前提とした当社グループの「ありたい姿」である「アジアを代表するエネルギー・素材企業」を目指すための取り組みを加速させるとともに、ステークホルダーの皆様と積極的な対話を行い、様々な社会的責任を果たし続けることを通じて、持続可能な社会の発展と活力ある未来づくりに貢献してまいります。

以 上

<ご参考>

ENEOS REPORT「統合レポート2020」

当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

<https://www.hd.eneos.co.jp/ir/library/annual/>